

2019年度第7回経済学研究科教育会議抄録

日 時 令和元年11月27日(水) 10時30分～11時50分

場 所 経済学研究科棟6階 大会議室

出席者 福田研究科主任、松村、青山、久保川、伊藤、谷本、稲水、佐藤(整)、林各委員

欠席者 渡辺研究科長、中西委員、新谷委員

I. 報告事項

1. 教育運営委員会学部・大学院教育部会について

福田研究科主任から、11月18日(月)開催の教育運営委員会学部・大学院教育部会について、次のとおり報告があった。

- ・博士課程社会人特別選抜の募集要項が承認された。
- ・理学系研究科よりダブルディグリーに関する提案があり、「本学大学院における外国の大学との共同学位プログラムに関する申合せ(たたき台)」が提示された。
- ・学校教育法施行規則の一部改正に伴い、令和2年4月1日以降、学位論文に係る評価に当たっての基準の公表が義務化されることとなった。

2. 令和2年度修士課程入学許可内定者の名目上指導教員の決定について

福田研究科主任から、令和2年度修士課程入学許可内定者の名目上指導教員について報告があった。

3. 学位論文(課程博士)の審査委員会委員並びに主査の選出について

福田研究科主任から、11名の学位申請者に対する審査委員並びに主査の選出について報告があった。

4. 修士課程一般入試におけるWEB出願システムの導入について

福田研究科主任から、来年度の修士課程一般入試におけるWEB出願システムの導入について報告があった。

II. 協議事項

1. 2019年度第6回本研究科教育会議抄録(案)について

原案のとおり議決した。

2. 学位論文(修士)の審査副専攻の選定について

福田研究科主任から、学位論文(修士)の審査副専攻の選定について説明があり、議決した。

3. 学位論文(課程博士)の審査結果について

福田研究科主任から、1名の学位論文(課程博士)の審査結果について説明があり、出席した9名の委員の合意により、1名に博士(経済学)の学位を授与することを議決した。

4. 令和2年度本研究科授業日程(案)について

林カリキュラム委員長から、令和2年度本研究科授業日程(案)について説明があり、原案のとおり議決した。

引き続き、福田研究科主任から、令和2年度社会人特別選抜入学者のための土曜日授業日程(案)について説明があり、原案のとおり議決した。

5. 東京大学大学院経済学研究科規則別表の改正について

林カリキュラム委員長から、コース再編に伴う本研究科規則別表の改正について、引き続き、大学院担当から、改正内容について説明があり、原案のとおり議決した。

6. 令和2年度本研究科授業科目表（案）について

林カリキュラム委員長から、令和2年度本研究科授業科目表（案）について、暫定案として承認願いたい旨の説明があり、議決した。

7. 経済学研究科及び経済学部各授業形式における遠隔授業の取扱いについて

林カリキュラム委員長から、本研究科及び本学部の各授業形式における遠隔授業の取扱いについての申合せ（案）について説明があり、原案のとおり議決した。

8. 大学院担当教員について

福田研究科主任から、3名の大学院担当教員について説明があり、原案のとおり議決した。また、引き続き、今後の手続きとして、協力部局（総合文化研究科、東洋文化研究所、社会科学研究所）所属の教員についてはコース（副専攻）会議を経ずに直接本会議に附議することとし、協力部局でない部局所属の教員についてはコース（副専攻）会議を経た後に本会議に附議することとしたい旨の説明があり、承認された。

9. 学生交流協定（部局間）による特別聴講学生の受入れについて

福田研究科主任から、特別聴講学生1名の受入れについて説明があり、原案のとおり議決した。

10. 先端経済国際卓越大学院プログラム関係規則等（案）について

福田研究科主任から、先端経済国際卓越大学院プログラム関係規則等（案）について説明があり、各コースで確認のうえ、次回の本会議で再度審議を行うこととした。なお、コース別の指定科目については、次回本会議までに教務チーム大学院担当へ届け出る。

III. その他

1. 授業料免除成績認定に係る選考基準について

福田研究科主任から、授業料免除の成績認定に係る選考基準について説明があり、意見交換の後、成績認定基準を緩和することが了承された。

3. 次回開催日時について

次回開催日時は、12月18日（水）10：30からであることが確認された。